

夕刊 九月三日 行發日三月九

旅中片々二

東京にて 大井川一史

北西の彼方を遠く眺めるものが...

砂山 徳島 千歳

涼味 小野野平

高橋是清 (109) 松浦泉三郎作

内緒 美野 蓮子

耳鼻咽喉科 高柳博明

工 日東商會

高原に立ち上り 林柳波

秋草

内務卿は特にその便宜を計り...



耳鼻咽喉科 高柳博明 桑原柔道整骨院

安齊醫院 外科、内臓外科、工ツキス光線科

吉田眼科醫院 平町紺屋町電話六八番

關内藥局 電話四〇番

小瀧へ!!! 湯の瀧

耳鼻咽喉科 高柳博明

工 日東商會

根本科醫院

花柳病科 井坂醫院

御知らせ 玉ナフタリン

平製米會

目科療診 中野齒科醫院

自轉車。リヤカー

フタバ商會

産科 婦人科

花柳病科 井坂醫院

花柳病科 井坂醫院

春風秋雨二百廿餘年 白露冷き鳥居公の墓域

平城開創の偉業を永久に傳ふべく 建廟に栗山現住職起つ

長源寺は、慶長五年三成に至り子爵を授けられ常主忠と共謀津に躍起した上杉一氏は東京市麹町區五番町にて伏見城を守り同年八月朔日石田勢の襲撃に肝煎なる戦死を遂げ鳥居彦右衛門實宗を有し又以後後代に傳へし門元忠(六歳家康八歳より)牌を蔵し日百石の寺領を得生死を共にした徳川家譜代に維新前後は河派の道場として頼山陽の遺徳を讃へて祀られし。その後、其の孫に傳へられた。その孫に傳へられた。その孫に傳へられた。

一切寄附を仰がす 信念の托鉢へ

周耕師の擧に父禪師勸勵

周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。

周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。周耕師の擧に父禪師勸勵。

砂防地鎮祭

上野野村憲の集り 上野野村大字深田山字鹿野の祭を執行する

十四時間に巨り 壯烈な防空演習

急よ日程及大綱きまる

防空演習の日程が決定した。防空演習の日程が決定した。防空演習の日程が決定した。防空演習の日程が決定した。防空演習の日程が決定した。

明日から豫行演習

明日から豫行演習。明日から豫行演習。明日から豫行演習。明日から豫行演習。明日から豫行演習。

取引はやく七千貫 四倉蘭市場

急よ最盛期に入った

四倉蘭市場。四倉蘭市場。四倉蘭市場。四倉蘭市場。四倉蘭市場。

禍ひは口から 他人の泥酔姿を罵り

サンザ殿られた男

禍ひは口から。禍ひは口から。禍ひは口から。禍ひは口から。禍ひは口から。

十人組の只飲み男

魚清食堂を荒す

十人組の只飲み男。十人組の只飲み男。十人組の只飲み男。十人組の只飲み男。十人組の只飲み男。

石城の水の傳説

磐城民俗研究同志會

石城の水の傳説。石城の水の傳説。石城の水の傳説。石城の水の傳説。石城の水の傳説。

お醤油は……ヤマフル

山崎合名會社

お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。

お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。お醤油は……ヤマフル。

<h3>光線科</h3> <h3>整形外科</h3> <p>平町才地 小路四</p> <h3>大河内整形外科醫院</h3> <p>醫學士 大河内一 電話 五八八</p>	<h3>西村屋薬舖</h3> <p>百薬品 藥劑士 鈴木堅助</p> <p>近頃弊店外交員ト稱シ修養又ハ注文等ヲ受ケテハ居ラズ候付此後如斯者參リ候ハハ御注意被下度願申上座 敬白</p> <p>平町二丁目 根本時計店 電話 六〇七番</p>	<h3>お醤油は……ヤマフル</h3> <p>山崎合名會社 味噌醬油 たひら正宗 味噌 食料品</p> <p>電話(本館部)二七番 電話(支店)二七番</p> <p>山崎合名會社 山崎與三郎 明治生命磐城代理店 山崎與三郎</p>	<h3>五十嵐婦人科醫院</h3> <p>醫學博士 五十嵐雄二</p> <p>電話 三六九番</p>	<h3>お醤油は……ヤマフル</h3> <p>山崎合名會社</p>
--	---	---	--	-----------------------------------